

iPS細胞研究の現在と未来

iPS細胞は私たちの体の細胞から容易に作ることができる細胞です。この細胞からは、体のいろいろな細胞を作り出すことができます。この能力を利用して、iPS細胞から傷んだ体の一部を新たに作り出し、医療に役立てる研究が進められています。しかし、それだけではありません。患者様の血液細胞からiPS細胞を作り、病気研究や治療薬の開発に使うこともできます。本講演では、これらiPS細胞の最近の研究を紹介するとともに、将来、どのようなことができるのかをお話します。

熊本大学発生医学研究所
教授 江良 択実

無料

令和6年9月28日(土)

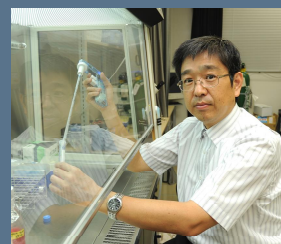
15:30~16:30

場所 蔦屋書店熊本三年坂地下1階イベントスペース
(熊本市中央区安政町1-2)

対象 学生・一般の方(どなたでも)

定員 30名(先着順)
※定員に空きがある場合には、当日参加も受け付けます。

申込方法 QRコードまたはお電話で
お申し込みください



江良 択実

研究紹介

難治性疾患の病気由来のiPS細胞を使った薬剤開発と疾患研究、さらに再生医療研究を行っています。

経歴

1987年 熊本大学医学部卒業
1993年 熊本大学大学院医学研究科・博士課程修了
1994年 熊本大学医学部 医員
1995年 大阪大学微生物病研究所 助手
1998年 University of California, Los Angeles
Postdoctoral Fellow
2000年 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 研究員
2007年 熊本大学医学部附属病院血液内科 医員
2008年 熊本大学発生医学研究所
幹細胞誘導分野 教授 現在に至る。

申し込み・
お問い合わせ

熊本大学総務部総務課広報戦略室
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39-1
Tel 096-342-3119